

(祝) 日本列島縦断達成！！各駅舎立ち寄り鉄道つたい歩きで

1973 年数物科卒の榎原 勉（元フコク生命、現在みどり生命保険（株）保険計理人）と申します。メールマガジンに投稿の機会を得ましたので、標記タイトルで執筆させていただきます。

<目次>

～日本縦断の達成感ひしひしと～

～私のウォーキングのきっかけとは～

～旅行記の一場面～

～私の今後の歩み方～

～日本縦断の達成感ひしひしと～

2017 年 5 月 7 日(日)16 時 40 分、博多駅で稚内から鹿児島まで続く鉄道(営業キロ 2,921.3 km)を「各駅舎立ち寄りによる鉄道つたい歩き」にて踏破しました。この感動した瞬間を友人に SMS で発信したところ、多数の方からお祝いのエールを頂き更に感動・感激しました。日本縦断に費やした日数(移動日のみは除く)は 111 日、一日当たりのウォーキング営業キロは 26.3 km となります。2017 年 3 月現在の時刻表から踏破駅舎数を確認したところ、676 駅でした。日本縦断達成後、インターネットで情報を得て、この達成記録を稚内市観光交流課に連絡したところ、5 月 17 日、宗谷岬展望台施設にある「日本列島縦断達成者記録簿」に掲載されるとの朗報があり、感無量の思いになりました。



2017 年 5 月 7 日 (日) JR 博多駅にて

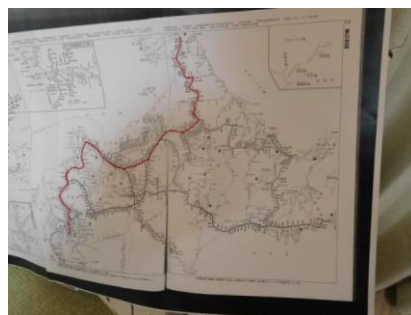
この朗報記事は私の「鉄道と歩き/遊学働のウェブサイト」“カッシー館” (www.kassy-kan.net) にも投稿しています。このカッシー館は、2014 年 7 月に開設し、約 5 年間のブログ更新実績は 403 作 (月 6 から 7 回) となります。ヤフーの検索キーで確認し

たところ、自転車、乗り鉄、街道歩きなどで日本縦断達成者は多数いらっしゃるようですが、私のような“歩き鉄”の方の投稿記事はありません。それ故、稀少価値が高いと考え、これまでの活動記録をまとめて、近い将来ギネスへの申請を夢見ています。なお、日本縦断への名乗りは、2016 年 6 月号の大阪香川県人会誌や日本年金数理人会のメール版（2016 年 9 月）でも投稿しています。昨年、熊本地震により、達成は 1 年遅れとなりましたが。



稚内駅と鹿児島駅が握手

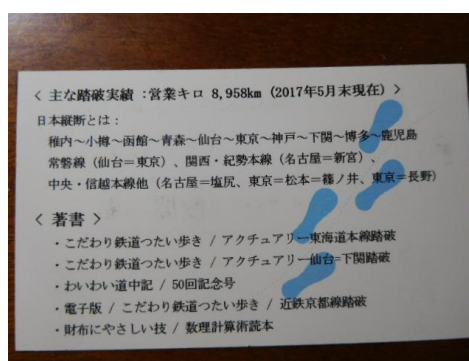
日本縦断達成を終え思ったことは、継続は力なり、人類は皆兄弟、そして住めば都。加えて、日本は新幹線などを利用すると狭い空間だが、歩くと随分広い空間であると感じました。その中で沿道にてお会いした人達、郷土料理、地酒、文化、伝統などを通じて一体化もできたこと。更に、津々浦々に続く海岸線・山並み・川・田園・町並みなどの日本列島の素晴らしい景観を自分の目で確認できたこと。一体化できた反面、時々懐かしい場面を思い出すが、どの路線であったか、思い出せないことが。もしかすると痴呆の初期かも知れません（笑い）。



日本縦断達成のイメージ他

～私のウォーキングのきっかけとは～

私の歩きのきっかけは、健康管理や物見遊山といった軽い気持ちからで、決して“日本縦断達成”といった大きな目標を掲げて歩いたわけではありません。二足歩行の単純な積み上げで達成できたものです。歩きながら、走りながら、試行錯誤しながら、カッシー館にも掲載しています、九カ条からなる“こだわり鉄道つたい歩き”を樹立しました。その一例が“各駅舎立ち寄り鉄道つたい”と“活動記録”（只今現在 A4 判で 2,000 頁位か？）です。趣旨は、自分へ励ましと信念がぶれないようにするためです。そして、第 3 者への発信を視野に入れてかも知れません。その結果、下記の名刺にも記載の通り、電子書籍を含む 4 作の著書が誕生しました。



歩きの小道具：趣味の名刺（年に 2 回位データ更新）
似顔絵はアマゾンキンドルの電子書籍“近鉄京都線踏”に登場
耳にはウォークマン、右手にペン、左手にメモ帳
裏面の四つの足跡は北海道、本州、四国、九州を示す

私の最初の歩きは 2000 年 5 月 3 日からの多摩川沿いの歩きシリーズが原点となります。しかし、川沿い歩きは、風景に変化がないし、歩きの始点から終点までアクセスが大変であると感じ、1 カ月経過した時点で、鉄道沿線歩きに鞍替えしました。

“鉄道つたい歩き”の原点となったのは、2000 年 6 月 3 日（土）、小田急線の千歳船橋駅から自宅までの営業キロ約 30 km です。この時は、危機管理の予行演習という気持ちから、途中経路（各駅舎立ち寄り）は全く関係なく、ただ始点から終点まで歩く条件で。しかも、時分単位の記録もとらず。この歩きを通じて、私がウォーキングの醍醐味としている“自分をミステリーゾーンに投入する”という楽しみ方を味わいました。この時のウォーキングが楽しかったことを今でも鮮明に覚えています。ただし、足が棒になりましたが。そして、回を重ねる毎に歩きに随時条件を加えながら、九カ条からなる“こだわり鉄道つたい歩き”へと発展して行ったわけです。

～旅行記の一場面～

日本縦断達成の旅行記には、ウォーキング日和だけではなく。雨の日や炎天下の日などの悪条件も多々ありました。その中で楽しいことや苦勞したことなど多々体験しました。代表的な幾つかをご紹介しますと次の通りです。

まず思い出すのは、立命館大学が関係する旅行記です。東海道本線踏破（2009 年 3 月）と日本縦断達成（2017 年 5 月）の前夜に、数物同級生夫妻に三ノ宮（高田氏）と久留米（緒方氏）でお祝いをしてもらったことです。また、2008 年 3 月、関ヶ原近郊の竹中半兵衛縁の垂井で財布と青春 18 きっぷをロストし、名古屋在住の数物同級生の多田氏夫妻にお世話になったこと。更に、2015 年 6 月、稚内市在住の後輩（山崎氏）に市内案内に加え、ご家族と一緒にご馳走になったこと。その他、職場の人達とも青森、八戸、浜松、岡山と遠征先でお会いし旧交を温めたこと。



宗谷岬にて（この展望台施設に私の記録が）



久留米“しげなが”にて

次は、2015 年 5 月、盛岡から仙台までの踏破の際、靴とリュックとの相性が悪く、松島駅から塩釜駅まで杖をつきながら必死に歩いた体験。この時は 10m が 1 km 位に、また、段差が険しい山に感じました。挙句には仙台駅で JR 職員さんのお世話になり車椅子でタクシー乗り場経由にて、ホテルまで誘導して頂いたこと。三つ目は、2016 年 6 月の北海道踏破の際、函館近郊の赤松街道で私の故郷と同じ在住の高野氏（街道歩きで本年秋日本縦断達成予定）にお会いして感激したこと。

四つ目は、2015 年 6 月、利尻富士を見ながら、豊富から南稚内（営業キロ 40.8 km）をウォーキングとジョギングの併用で達成したこと。そして、これまでの営業キロの最長区間である天塩川温泉駅から名寄までの 45.3 km を同様に。この区間は熊が出現しそうな箇所があり、非常にスリル満点でした。五つ目は、2016 年 6 月に苦勞して踏破した秘境“姫川駅”（函館本線の森駅から大沼公園駅の間にある駅）。この駅は、BS ジャパンの発見旅でも取り上げられたので“知る人ぞ知る駅”かも知れませんが。しかし、本年 3 月の時刻表に

は廃駅となり姿を消しました。一つ先の東山駅も同じです。



姫川駅



東山駅

六つ目は、2013 年 5 月、鹿児島から熊本までの踏破の際、肥薩おれんじ鉄道路線で反対の方向に進むというミス連発や時間を誤って 1～2 秒の差で列車に乗り遅れた苦い体験（何れも八代駅が絡む）。また、日本一駅舎名が長い“たのうら御立岬公園駅”“近郊を一周して元の位置に戻るといいう体験も。



2015 年 6 月日進駅

～次は名寄駅で熊が出そうな区間を終えて～



2016 年 6 月函館駅

～北海道踏破を終えて（本来ならばこの場面が日本縦断の達成の瞬間であったかも知れません）

そして七つ目は、2010 年 4 月歩いた、常磐線原ノ町からいわきまでの区間。この区間は 111 日の対象ではありませんが、思い出さざるを得ません。特に 4 月 5 日、雨の中を歩いた浪江、双葉、大野、夜ノ森、富岡の鉄道つたい歩き（営業キロ 20.8 km）は生涯忘れないでしょう。沿道でお会いした方々が今も不自由な生活を強いられていると思うと言葉がありません。遠くからですが一日でも早い完全復興を望むのみです。その他、思い出せ

ば、湯水の如く登場してきます。

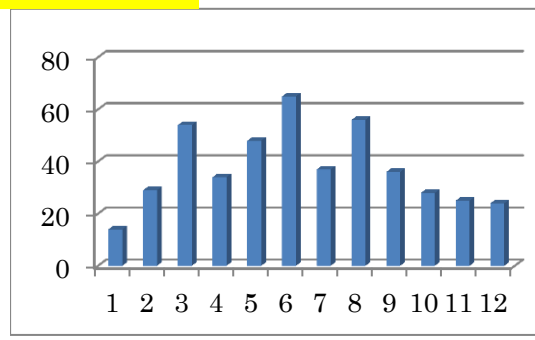
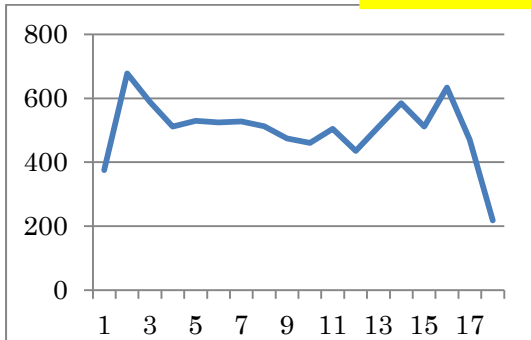


大震災前の浪江駅と富岡駅

～私の今後の歩み方～

2017 年 6 月末現在、通算営業キロは 9,049 k m（移動日のみを除く活動日数は 450 日）です。私鉄を含む日本の鉄道路線は 27,675 k mなので約 3 分の 1 の達成状況で、日本列島を 1 往復半に匹敵する距離です。日本縦断達成まで 17 年要したのは、日本縦断路線に加え、色んな路線（私鉄を含む）を歩いているからです。一例を挙げると、地下鉄を含む首都圏鉄道網、中央本線（東京～塩尻～松本～長野、名古屋～塩尻）、信濃本線系（大宮～軽井沢～長野、長岡～新潟～新発田）、常磐線（上野～仙台）、関西・紀伊本線（名古屋～新宮）、瀬戸大橋・予讃線（高松～松山～伊予長浜、岡山～児島）、南海高野線（高野下～難波）、近鉄京都線（奈良～京都）。

2017 年 6 月末ウォーキング統計



暦年別ウォーキング営業キロ動向（17 年間）

月別ウォーキング活動日数

歩きは自分だけの力ではできません。天候、家族、健脚、職場、金銭など色んな総合的な環境が整ってできる代物です。すなわち、天や神のご加護なしには絶対できません。そ

いう意味では、私の旅行記は感謝また感謝から生まれた産物・作品かも知れません。

私の次なる目標は、営業キロ 1 万 k m の達成や全国 47 都道府県への足の踏み入れ（現在 35 都道府県達成）。そして、日本縦断達成後に思いついた青森から下関までの日本海沿線の踏破や故郷四国の鉄道網の踏破です。それ故、早速 2017 年 6 月 3 日（土）～6 月 5 日（月）、日本海沿線歩きの第 1 歩を踏み出しました。次の目標に少しでも近づけるためです。信越本線・白新線からなる長岡～新潟～新発田の鉄道つたい歩き旅（営業キロ 90.6 k m）を通じて、日本海沿線の魅力を痛感しました。次の歩きが待ち遠しく楽しみです。

日本海沿線歩きの第 1 歩



新潟駅



豊栄駅界隈の“まるた”にて
日本縦断の旅を語る

11 年前に 78 歳で他界した親父の夢が鉄道に絡む旅で、「いつの日か乗り鉄を楽しみながら旅をしたい」旨を母から聞かされたことがあります。この時は胸がジーンとききました。親父は働くだけ働きその夢は全く実現できませんでした。一方、19 年前に 47 歳の若さで弟が健康を過信したこともあり他界しました。親父の夢への実現や弟の短命への挽回のためにも、一日でも長く健脚を保持し、私の歩きを続けたいと思っています。どこまで歩けるかわかりませんが、伊能忠敬に少しでも近づけるよう、私の人生哲学の一つにしています“遊学働”（遊ぶ、学ぶ、働く）を貫き、頑張りたいと思います。そして、年金や医療などの国庫負担に少しでも貢献できれば、私の人生は輝く人生になるかも知れません。

以上